

会 議 概 要 報 告

1. 会議の名称	令和4年度潟上市自殺対策計画検討委員会
2. 開催日時・場所	令和5年3月16日
3. 委員等の人数	12人
4. 出席委員等の人数	9人
5. 議題	(1) 潟上市の自殺の現状について (2) 各種取組の進捗状況について (3) 自殺対策計画第2期の策定について
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	資料1 潟上市の自殺の現状について 資料2 令和4年度潟上市自殺対策計画進捗確認シート 資料3 令和4年度心はればれゲートキーパー養成講座 アンケート集計結果 資料4 SOS の出し方に関する教育について 資料5 自殺対策計画第2期の策定について
8. 会議の概要	<p><会議要旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携し、未遂者及び自殺者と未遂者の家族に対して精神的ケアを行うことが必要ではないか。 ・若年者はライフイベントを迎える際に悩みが生じることもあるため、その際に悩みや不安を軽減することが自殺対策にとって重要である。 ・相談機関の周知が必要である。 <p><委員からの主な質問や意見></p> <p>(1) 潟上市の自殺の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が情報を共有し、自損行為で搬送された方及びその家族のフォローを行うことが大切であると考えている。 →未遂者への対応について、本人及び家族の同意を得られた方については警察や病院から保健所へ情報提供が行われていると伺っています。しかし、その情報が市へ共有される体制を作ることが難しい状況です。 ・遺族のケアが必要と考える。個人情報保護の観点から自殺者やその家族の情報を共有することができないのが現状だが、もしも子どもが親の自殺を目撃した場合でも何もできないというのはいかがなものかと思う。

	<p>→個人情報保護に関しては法律で規定されておりますが、子どもが親の自殺を目撃した場合には児童虐待として対応することができる可能性もありますので、別視点からの支援を検討してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年者はライフイベントを迎える際に悩みが生じると思う。この悩みや不安を軽減することが今後の自殺対策にとって重要と考える。また、職場におけるメンタルヘルスの教育も必要と感じる。 <p>(2) 各種取組の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOSの出し方教室に、救命講習を取り入れていけると良い。 ・今現在行っている事業を市民に周知していくと良い。 ・ゲートキーパー研修でストレス解消法について講義するのも良い。 <p>→来年度の講義内容について今後検討してまいります。</p> <p>(3) 自殺対策計画第2期の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレス解消法の設問について、「友人と話す」などの他者との交流についての選択肢があっても良いと考える。 ・問8の相談機関を見ても分からないところが多いため、相談先の周知が必要であると感じた。
9. その他	